
MP1 (練習用)

赤い人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

MP1 (練習用)

【Zマーク】

Z4233Z

【作者名】

赤い人

【あらすじ】

前世で何もなさずに死んだHIKIKOMORIが異世界に転生！王子で可愛い妹がいる。これで異世界チートがあれば勝ち組だ！あつはつはつはと思ったが・・・。何だかんだで異世界チートは得ます、多分ハーレム系で最強になつてくれるはずです。文章力がゼロでさらに見切り発車な作者です。色々練習のつもりで書いていますのでご指摘いただけたとありがたいです。

プロローグ（前書き）

この作品は作者の練習用に書いています。自他共に認める文章力ゼロでこのままでは不味いと思って投稿しました。色々ご指摘いただけたとありがとうございます。非才ではありますが改訂しながら完結を目指します。

この小説はHOKI KOMORIを推奨も誹謗もしていません。

プロローグ

MP1 プロローグ

あつ死んだ

我ながら何ともあつけない人生だつた。大学院までは順風満帆だつたと思う。ストレートで有名国立大学に入り、剣道に打ち込んで4段を取つた。友人との付き合いで無茶な事もした、彼女は作らず（ここ重要！）趣味のアニメや漫画、ライトノベルを愛した。それが崩れたのは大学院に入つてからだつた。何をするのも無気力になり今では世界共通語HIKIKOMORIに・・・

今日も一人孤独にアニメを見ていたところ急に息が詰まつた、このころには人とのかかわりを絶つて1ヶ月たつていた、助けてくれるひとはない、つまりこれから死ぬということが理解できた。やつぱりあつけない人生だつた。

この人生はあつけなかつたけど願わくば次の人生では何か成し遂げたいな・・・。

- 享年24歳 某国立大院生 自宅で孤独死 死後2ヶ月と推測
死因は心筋梗塞 -

あれ！？

うんやつぱりこれは転生だよな

比較的大柄だったはずの身体を眺めたが鏡に映るのはどう見ても4歳の子供です。というか金髪碧眼になつてゐるし、顔は・・・まあなかなかよくなき氣がする。まあわりにいる比較対象が美男美女なため相対的に平凡に思えるが。

状況を把握しよう

自分の名前は

ショウ・オオサカ

西洋風なのに名前が突つ込みどころ満載なのはほつといてくれ。初めのショウが名前でオオサカは出身地を示すそうだ。生まれた時の記憶はあいまいでよく記憶にない夢をみては体調を崩していた。

その夢は次第に鮮明になつていき今日完全に前世の記憶とそれが前世であることを理解した。

人格は今世のわりといたずら好きな性格を一気に老けさせた状態だ。ぶつちやけいつと完全融合状態で乗つ取つたという感じはない。

皆さん（誰に言つてゐるんだろう?）も経験はないだろ?か。某願い事をかなえる玉を探す漫画を見て、おとなしい性格だったのに、

「オラ、わくわくするぜ!」

とかいつて勇気あふれる性格になつた気がしたり、
とある不幸な?フラグ量産機なラノベを見て、
「殲滅原子!!!!!」

とか将来発動するであろう能力を妄想し、それを続けて完全に厨二病に発症してしまつた僕がいる。
・・・ん?ただの暴露話になつていなか。

まとめるに前とえらい性格が変わつて別人格みたいになつても根本的に自分は自分ですよといふことだ。

まあ性格がいきなり変わつたから可哀想なやつみたいな目で見られるかもしれないが、甘んじて受け・・・いやまた！一いつ下の異母妹に「お兄ちゃんへん！」

とか言わいたらこの人生またあきらめるかもしれん！

バレないよう子どもの振りをしよう・・・・・つてせつめの性格つてどんなだつけ落ち着いて思・・・いぢ?

「「「お兄ちゃん（ショウウ様）！五歳の誕生日おめでとう（ハジキ）ます）！」」

えつと

順番に可愛い異母妹のカレン、僕専属メイドのトモエ、カレン専属のサラだ。

さつき説明してなかつたが実はこれでも王子だ。父さんは一ホン国の大王で450年も統治を続けていた生きた伝説で、母さんは僕を生んすぐになくなつたそつだがメイド道を極めた特別なメイドだつたらしい。ついでに兄弟は18人いて、自分が17番目、カレンが18番目の末つ子だ。他の兄弟は50歳以上離れているのであまり交流はないが逆にカレンとは年が近いためよくいっしょに遊んでいる。カレンのお母さんは侯爵家の娘らしくプライドが高いのか僕といつしょにいるといい顔をしないけど（今の頭でよく考へると）。

まあまた言いたいことはわかつてない。さつきの名前からやつぱりこれはテンプレとか推測できた人、拍手です。転生は転生でも異世

界転生です。なんか日本語で通じるし、文字とかも日本語（翻つたことなくて読んでたけど誰も突つ込まなかつたのだろうか）、国名もあからさまだ、だがしかし異世界だ。

周りにいる人みんな若いし、父さんも25歳くらいにしか見えない（実年齢465歳）。周りには猫耳、や犬耳の人もいるし、魔法があるらしい！うんファンタジー！あーやつぱり魔法があるなら使えるようになりたいな！よしテンプレ通り早期修行＆異世界チートを確認しないと、まずは・・・

「お兄ちゃん大丈夫？なんかブツブツしているし、いつもと違つて感じだしへんだよ！」

あああああ～やつてしまつた。いつもビビリ振る舞おうと誓つてたはずなのに、もう生きていけない・・・ドナドナドーナもつぶつつかつれつてー

「カレン様。ショウ様はおそらく最近は見ていらつしゃらなかつた悪夢を見てしまわれたのでしょ？。すぐにお薬と治癒魔道士を連れてまいりますので大丈夫ですよ。」

「そうです。ああカレン様が今夜いつしょに寝てあげてはどうでしょう。ショウ様もきつとぐつすりお休みになられますよー！」

「えつほんと！えい！」

トモエがフォローしサラがとんでもない事をおつしゃつて、しきなりカレンが抱きついてきた。

「ー？」

ふんわりと柔らかい感触と甘い香りがしてきて・・・
やばいまた変な奴と言われちゃうからしつかりしないと

「あ、ありがとうカレン、もう大丈夫。夢見が悪かつただけでちょっと落ち込んでただけだから、それとサラがいったのは今夜でいまじないよ」

「わかつた」

といつてカレンはあつさつ離れた。
し、しまつた。余計なこと言つちやつた。もつ少し天国を味わいた
かつたの。」。（涙）

いちよつお薬飲んで、治癒魔道士に治療してもらひました。なんと
もないよつです。

プロローグ（後書き）

初めて小説を書きました。いつも国語は赤点近くだったなー上達で
きるよう頑張ります。

第1章 - MP1のHIN 其の1 - (前書き)

続けて投稿です。

第1章 - MP1のHNH 其の1 -

第一章 - M1のHNH 其の1 -

「お兄ちゃん。プレゼント!」

そういうて僕に渡してくれたのは泥団子だった。誕生日に泥団子・・・もちろん無粋な事は言わない、異母妹の泥団子に込められた自分へのお思いが素晴らしい。

「ありがとウカレン。この泥団子すいへんおこしあうだね!」
よし、対応完ぺき! はつは前世では歳の離れた弟がいたから子供の相手は慣れてるぜ! -

「えー! お兄ちゃんそれ食べるの? やっぱりあたまへん!」

またやつちまつた! なんでだー

- 説得中 -

何とか薬＆治癒魔道士のコンボをかわし、[冗談といつ]とで納得してもらつた。そしてひと段落ついたところでトモエが話し出した。
「シヨウ様5歳の誕生日おめでとうございます。5歳の誕生日には特別な儀式があります。陛下が待つておられますのでお食事の前に玉座の間にいらっしゃいませ。」

! ? 今世の記憶を探つてもまだ父上は遠目にしか見たことがなかつた、よっぽど重要な儀式らしい、ちょっとオラ、わくわくしてき

たぜー

・玉座の間にて・

一人で「行け」と「う」とでカレンには置いていくことに文句を言われたが了解してもらつた。ブンブンしているところもまた可愛い・・・意を決して玉座の間に入った。

「大きくなつたなショウよ！」

そこには威圧感たつぱり、カリスマオーラ万歳の御人がいた。つてか父らしい。

個人的にこういうなんかすつ「ごそな人つて身内にはいて欲しくないよね。そりや自分もすこかつたらいいけど、我が道を行くとかで迷惑振り撒いたり、比較されて蔑まれたり。どーせ自分はHIKIKOMORIですよ~

「ん? どうした、我が子ならそんな小さな声でなくはつきりと答えよー！」

またまたやつてしまつたようだ。やつぱりHIKIKOMORIのネガティブさに性格が引きずられているみたい、ポジティブにしないと! うん、もう自分は別人! 人生バラ色、王子だし可愛妹居るし勝ち組だ!

「はつーショウ・オオサカ、召喚に応じ参上致しました! 汝が我が父か!」

畏まつた言い方あんまり知らないんだ、たしかこんな感じの挨拶で

よかつたよね。

「いかにも！我がそなたの父である。」

乗ってくれた。意外とお茶目な性格かもしれない。

落ち着いてまわりを見ると宰相なおっさん（名前 forgot ）と、偉そうな神官ぽい人がいた。

「今日はそなたにある事実と儀式をしてもらう。説明は我よりギラ、そなたの方がよいだろつ。任せた！」

するとえらそうな神官ぽい人、ギラだけが話し始めた。

第1章 - MP1のHN - 其の1 - (後書き)

あつふたつ連続投稿します。

第1章 - MP1のHIN 其の2 - (前書き)

3つ目です。

第1章 - MP1の王子 其の2 -

- MP1の王子 其の2 -

ギラの話はあーだこうだでわかりにくかった。まとめるとこうだ。

- ・この世界には神がいる。
- ・この世界のすべてのものはMPでできている。
- ・神はMPを使って何でもできる。（天地創造からハゲ治療まで）
- ・人族もその恩恵を受け、神にMPを奉納することで力を借りてます。
- ・今日は神に自分は神の使徒であることを宣言して実際に力を借りましょう。
- ・それと身分証明書を神に発行してもらいましょう。（これ儀式）

うんRPGをこよなく愛し、現実と2次元の区別がつかなくなつた自分だこれくらい楽勝だろう。

なになに神の存在を意識し語りかけなさい？

『えーもしもし神様！おれおれ！ちょっとなんか力欲しいんだけど』

ぴかーん！成功か？こんな適当でいいのか！

神1？『ショウ・オオサカよ汝に加護を授けよ』

神2？『ショウ・オオサカは12歳まで限定職業「初心者」を得ました。

初回限定につきMP奉納はありません

ポテンシャルスキル「加護（熟練度1）消費日MP・1を

習得

アクティブスキル「加護（MP操作 0/0）消費MP0」

習得

ポテンシャルスキル「メニュー欄（ステータス閲覧 0/0）消費MP0」

0習得

アクティブスキル「メニュー欄（ステータス閲覧 0/0）消費MP0」

消費MP0習得

ポテンシャルスキル「初心者行動の心得（熟練度1）消費MP0」

0習得

なんかゲットした。

「習得されたようですね。神は常に見ておられます。神の存在を感じMPをさせましょ。陛下お願いします。」

このひと完全宗教家だよね。おつと父さんが寄つてきた

「これはお前の誕生日プレゼントだ。名を「1億までMP保存可、すでに20万入っているめちゃレアな指輪」という。今からショウに所有権を渡す。同意してこの指輪にキスをしなさい」

な、名前が大変な事に、

言われたように父さんがキスした指輪にキスした・・・うげ

神2？『オウマ・オオサカ・ニホンからショウ・オオサカに「1億までMP保存可、すでに20万入っているめちゃレアな指輪」が譲渡されます。よろしいですか？』

あーあれだYESSとか念じればいいんだよな

神2？『オウマ・オオサカ・ニホンからショウ・オオサカに「1億までMP保存可、すでに20万入っているめちゃレアな指輪」が譲渡されました』

ゲットだぜ～

「無事成功されたようですね。それでは次に身分証明書の発行を行います。ショウ様いきますよ？」

神1？『ギラ・ペキン神官より願いを聞いた MP10をささげよ
さすれば 身分証明書を発行しよう』

神2？『クエスト発生

タイトル：身分証明書を発行しよう

達成条件：MP10を奉納

期限：なし

報酬：身分証明書の発行

クリア条件MP10をささげますか？』

もちYES

神2？『体内MP1、外所有MP200000あります。どのように奉納しますか？』

体内MP？よくわからん。外所有とかはさつきの指輪からかな？MP0とかこわいし、指輪からにしよう

神2？『外所有MPから10奉納しました

クエスト達成です

身分証明書が発行されました』

ん？手になんかカードみたいのが出てる、内容は

名前：ショウ・オオサカ
種族：ヒューマン

年齢：5歳

職業：初心者

体内最大MP：1

どーなんでしょう？え！？なんかめっちゃ驚いているけど・・・
やっぱ異世界チートか、悪いね、魔王倒せとか言われたらd

「の、呪われた子だ！即刻殺しましょー！」

へ？

次で今日は最後

第1章 - MP1のHIN 其の3 - (前書き)

今日最後です

第1章 - MP1のHIN 其の3 -

MP1 - MP1の王子 其の3 -

「「殺せ！　殺せ！　殺せ！」」

神官と宰相の大合唱。どうしてこうなった。

整理しよう

- ・5歳の誕生日、転生者と発覚！？妹可愛い
- ・神様とのファーストコンタクト！成功のはず
- ・父さんからのプレゼント！名前が酷い
- ・クエスト達成！身分証明書ゲット
- ・身分証明書を見せた！今の状況

異世界チートといつ以前にもうHINDしそうな雰囲気です。とりあえず重要なのは妹可愛いというのは大前提として、身分証明書の内容。おかしなところはおそらく体内最大MP1ということだらう。この世界のものはすべてMPからできているということなのでMP1は低すぎたのだろう、魔法のないところから来た弊害・・・逆チートものか。整理して原因は分かったけど、どうしたらいいのやら。

「おそれれーお主らは誰の前で誰の息子を殺すというのかー？体内最大MP1というのは前代未聞だ。たしかに王宮にはおいてはおけんしが、12歳までは育て見守るのが親の務め、12歳になつたら×××××すればよからう。」

さすが父さん今日初めて話したけど何とかしてくれそう。頼りになるね！　途中なんか聞こえなかつたけど助かるなんらいいよね。

・その後・

「これからこの離れがショウ様の居住区となります。ショウ様は12歳までここを出ることはできません。なおここには朝昼晩食事を持つてていきます。掃除は1週間に一回、洗濯物やその他必需品の取り換えもします。その際所定の位置について誰とも合わないようにして下さい。というかもう1・2歳まで誰ともしゃべれません。12歳になつたら門を開けますので、そのまま消えて2度と近寄らないでください。」

トモエが汚い物でも見たような眼で嫌そつておつしあつした。王子になつてもHIKIKOMORIなのか・・

第1章 - MP1のHIN 其の3 - (後書き)

感想お待ちしております。

第1章 - MP1のHIN 其の4 - (前書き)

昨日ぶりです

第1章 - MP1のHNH 其の4 -

第1章 - MP1のHNH 其の4 -

またなのか、やっぱり僕はHIKIKOMORIになる運命なのか！？まさか記憶を取り戻して1日も絶たずに今世でもHIKIKOMORIに逆戻りするとは思わなかつた。

いや待てよ。前世では自分の意志で家から出なかつたから絶賛HNH RIKOMORI中と言っていたが、今の状態はどうだろ？。

整理すると

- ・魔法があるし、ファンタジーなので出てもいいかもしれない。いや一度は出るべきだ
- ・無理やり自分の意志とは関係なく閉じ込められた。これは監禁では？いやそうだろ？

といつことはこれはHIKIKOMORIではない…合法的にあと7年外に出なくともいいということだ…なんてこつた、意図せず脱HIKIKOMORIしちまつたぜ！ほつほつ

- 閑話休題 -

今後のことを考えよ？。

呪われた子宣言されたし、トモエの反応を見てもこの城には味方はいない。・・・いやカレンだけは味方だろ？、いや信じたい。父さ

んは中立で命だけは保証してくれる。

? 今すぐ逃げた場合

これは悪手だ。何故なら自分は5歳でこの異世界のことは何も知らないし、逃げる場合味方のあてがなければ希望はほとんどない。というか門を堅く閉じられて今は逃げれません。

? 言われたように1~2歳まで待つて出でいく

まあ安全そうに見える。だが父以外の反応を見るといつ暗殺されるかわかったものじゃない。いや逆に近寄らないのか、食事に毒を盛られたら・・・そんな状況で耐えきれるのか。

? 情報収集後逃げる

この閉鎖空間で情報が得られるのか、そういうば神からもうつたスキルとか確認していなかつたな。熟練度とかあつたし R P G 的に鍛えたら強くなるだろう。・・・そういうば職業「初心者」や父の発言から1~2歳までかなり弱いんじゃないだろうか。5歳の誕生日でイベントが起きたことを考えると次は1~2歳でまたイベント後強くなれるということかもしれない。その場合ここから逃げるのはやっぱり悪手だ。ここにいれば命を狙われる可能性があるが保護してもらえる。外に出ると無力で保護はない金もない、弱い「初心者」はPKされるかもしれない。

以上から現実案として

- ・ 父の言つ通り、基本的に1~2歳までここにいて正面から出る
- ・ 暗殺にはいちよう氣をつけるが7年も氣を張るのは不可能だから、

そん時はそん時であきらめる

- ・もちろん情報収集とスキル強化、その他実験をしてみる
- ・もし途中で外でもやっていけそうになつたら再考する。

これで行こう！

第1章 - MP1のHIN 其の4 - (後書き)

感想お待ちしております。

第一章 - M1の王子 其の5 - (前書き)

スキル確認です。

第一章 - M1の王子 其の5 -

第一章 - M1の王子 其の5 -

とりあえず設備、装備の確認をしよう。

おそらく身分の高い人を監禁するために作られたのである。まわりは3メートル以上の塀でおおわれ、正面に堅そうな門がある。屋敷は一般的な2階建て一軒屋くらいの大きさで庭の広さは団地の公園くらい、今度測定してみよう。

中は結構綺麗で上流階級の方クラスという感じ。

生活必需品は一通りそろっているが刃物はなく（髪どうやって切る）、絵などの美術品（興味全くないんだが）、チヨスとかトランプとかっぽいゲーム類（一人でどういすんねん）、バイオリン、ピアノ等の楽器類（習つたことないし……）や格式ばつた本（唯一使えそう）がいっぱいある。

だがしかし、テレビやパソコンはない。

生活出来るかもしれないけどこれは厳しい、アニメなしで精神が持つかどうか怪しい。

装備品はちょっと上品だけど防御力0っぽい服とこの指輪か、武器もないし、なんか凄そうなアイテムもなさそう。指輪だけでもラッキーと思おうかな。

さて設備、装備を確認したからスキルを試してみよう。
たしかステータスを見るスキルがあつたはず

ん？なんだ何かイメージが浮かんでいる

ステータス

名前：ショウ・オオサカ

種族：ヒューマン

年齢：5歳

職業1：初心者、職業2：なし、職業3：なし

体内最大MP：1

LV：0

スキル：

ポテンシャルスキル「加護（熟練度1）消費日MP：1

アクティブスキル「加護（MP操作 0/0）」消費MP 0

ポテンシャルスキル「メニュー欄（熟練度2）消費日MP 0

アクティブスキル「メニュー欄（ステータス閲覧 0/0）消費MP 0

ポテンシャルスキル「初心者行動の心得（熟練度1）消費日MP 0

日MP 0

なんか結構詳しく出てきた。

よくみるともう熟練度が1つ上がっている。

これは上げるのは楽勝っぽいな。

もう一つのアクティブスキルを試してみよう。

アクティブスキル「加護（MP操作 0/0）」だったな。

・・・。

何も起こらない。

何故だ！？

MP操作ということだからMPを動かすのだろう。
奉納するスキルなのかな？それだと意味ないような気がするがやつ
てみよう。

『おいら神さん、MP奉納してやんよ』

神2？『体内MPまたは外所有MP、いくら奉納しますか』

アナウンスが聞こえた。

勝手に神2？とかしているけどなんか機械的だよな。
つと外所有MPを1でいいか。

神2？『外保有MP1受け取りました』

・・・

終わりかよ！

熟練度変わっているか確認ステータス開くつと

ステータス

名前：ショウ・オオサカ

種族：ヒューマン

年齢：5歳

職業1：初心者、職業2：なし、職業3：なし

体内最大MP：1

LV：0

スキル：

ポテンシャルスキル「加護（熟練度1）消費0MP・1を習得

アクティブスキル「加護（MP操作 0/0）」消費MP 0 習得

ポテンシャルスキル「メニュー欄（熟練度3）消費0MP 0 習得

アクティブスキル「メニュー欄（ステータス閲覧 0/0）消費MP 0 習得

ポテンシャルスキル「初心者行動の心得（熟練度1）消費0MP 0 習得

メニュー欄の熟練度しか変わつてねー！

てか奉納したMP1無駄だつたんじゃないだろうか。

MP1でもさ、MP1でも生きているんだよ

感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4233z/>

MP1 (練習用)

2011年12月16日19時48分発行